

第1回施設整備部会 議事録

(1)日 時：令和6年6月14日（金）午後7時30分より、（教育会館 第2研修室）

(2)参加者：委員（8名）、事務局8名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②資料説明及び意見交換

- ・新中学校校舎設計の一部変更について
- ・地下横断歩道について
- ・学校歴史等の継承について（案）

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（新中学校校舎設計の一部変更について）

事務局 資料1. 新中学校校舎設計の一部変更について 説明

部会長 ・今の説明でわからなかったこと、もう一度説明してほしいこと、ご意見はあるか。

委員1 ・グラウンドに出る玄関の縮小で子ども達の靴は置けないということか。

事務局 ・全部は置くことはできない。地下横断歩道から入ってくる玄関と非常に位置が近くなるためそちらに外ズックを置いてそこからズックをもっていく形でできないか。前は給食室の方にあり玄関から離れていたため外ズックを置く設定になっていた。場所を変えることで少し玄関に近づけたので玄関に外ズックを置いて出る形を考えている。

委員2 ・中学校が同じような運用をしていて運動会等で全校生徒が一斉に利用する期間はたった10日間程度だがきわめて廊下が汚れる。これが500人の移動になると全域砂だらけになる。子ども達の下足棚も同様になる。指導すればと考えるが雨のあとでグラウンドがややゆるい時はズックの付着量が大変多くなっていくら足をきれいにこすってきても玄関がかなりのことになる。同じことを繰り返すと思って見ている。

委員3 ・生徒玄関のところからも出られるのではないか。

事務局 ・生徒玄関の方からは少し地下横断歩道を通って出ることはできる。

委員4 ・給食室の上の屋根付き広場がなくなったということは給食棟に屋根がかかるのか。

事務局 ・今の小学校のようにくっついているが平屋で建っているような感じとなる。

委員5 ・これで1億3千5百万になるということか。

事務局 ・この概算建設費は屋根付き屋外広場を建設しないと1億3千5百万円がなくなる。屋外広場を建てるのにこのくらいかかるということ。

委員6 ・先ほど国交省の補助内示額が見込みの93.2%といわれたが全体でどのくらいかかるのか。

事務局 ・具体的な金額を出すのは難しい。予算の時には令和5年度の建築単価をもとにどのくらいの補助かを計算したがもらえる段階でいくらになるのかははっきり示せない。当初の時と同じ計算をしても当初見込んでいた額よりかなり減ってしまう。その分の補助がないと市の負担になるので少し削減を考え

	たものになる。
委員 7	・補助金だけで学校が建つのか。市の予算は無しで。
事務局	・補助金は国土交通省がかかる事業費の半分、公立学校施設整備事業の文科省の方が 55%になるがそれをあわせても市の負担があり、それに対しては有利な市債を借りたりして建てる予定をしている。地下横断歩道や取り壊しもすべてあわせて 45 億ぐらいを予定しているが全部を補助金でまかなうことはできない。
委員 8	・おおむね実際にかかる費用が見えるのはいつごろか。このままいって減額しなくてはいけないという状況が出た時にまたどこかに手を入れないといけないという状況が出る可能性もある。その辺の判断をどうしているのか。
事務局	・今回の変更により元々 6 月末だった実施設計を 8 月末まで延長し今回の給食室が別棟になることでさらに 10 月中頃まで延長になった。ただし令和 9 年 4 月の開校には必ず間に合うような設計の内容で取り組んでいる。10 月半ばをもっておおむね詳細な計画が出てくる。そこであってはならないが予算が大幅に超えることはないようにしているし、もしも予算の中に収まらなければ何らかの設えを落とすという調整を今後 10 月の半ばまでの前の段階から積算業務が生まれる。そこで詳細に詰めていきたいと思っている。しっかり取り組んでいきたい。
委員 9	・設えを落とすというのは合併して勝山でいい中学校を創ろうという思いでやっているはずなのに予算が出ないから設えをどんどん落として普通になっていくのはどうか。予算がないのは仕方がないかもしれないが少し考え方を変えていかないといけない。合併させて本当にいい中学校を創ろうとやらないとおかしな話になってくる。
事務局	・設えを見直すと言ってもどんとグレードを下げるのかも考えられるが許容範囲もあるのでできることとできないことがある。設計業者とも協議しながらどういった点で削減できるか、工法なども検討して少しでも金額に収まるような形で設計に取り組んでいくので設えもグレードを下げることはないようにしていきたいが何かの段階で見直す必要も出てくるのではないかといいことで先ほど申し上げた。
委員 10	・たとえば補助金以外の市の持ち出し分を少し出してでも当初予定したものに近づけるために努力をするという方向ではないのか。
事務局	・その辺は市内部での話になるので設計の積算の段階でそのようなことが発覚した場合は内部で協議はさせていただきたい。先ほど説明にもあったが補助の財源をもっての建設で市の単独費があればいいがその辺も含めて総合的に判断はさせていただきたい。ただし夢のある学校は私たちも目指しているその辺も踏まえて設計の業務に取り組んでいきたい。
委員 11	・根本的なことを聞きたい。この設計とか根本的な考えは子ども達の意見は全く聞いていないのか。大人が主導で目標を作っている感じなので中学校で過ごしている子どもたちには昔からの建物でこうした方がいいのではないかという意見など、保育園児はさすがにそういった意見はないと思うが中学生高校生になれば今まで通っているのである程度求めても響いてくると思う。そういった意見をアンケートなりで聞いたりしていないのか。
事務局	・中学生にゼロからどういう部屋を作るかという聞き方はしていないが基本設

計を検討中の昨年の夏、全中学生に我々が行って直接対面で説明をしてそれに対して意見をいただいている。子ども達は今の中学校と比較してもっと教室を広くしてほしいとか廊下の幅を広くしてほしいとか多目的な自由に使える空間がほしいとか私たちが図書館、メディアセンターを提案してたくさんの本を置いてこういった場所にすると説明したところはずごくいいぜひお願いしますとか、そのようなやりとりをして子ども達の意見も確認しながら設計に反映をさせていただいた。

委員 12 ・使い方の動線的な部分が見えてこない。今一つ頭に入ってこない。予算がないから削るのは仕方のないところはあるが使い方として子ども達がどう動いていくのか見えてこないのもそれがわかる説明をしてほしい。屋根付き屋外広場は元々どうやって使うつもりで考えたのか、必要なものならそれでとらえないといけない。どう使うつもりでそれはないけど代わりにこういう部分で同じことをまかなおうとしているのか、説明してほしい。

事務局 ・屋根付き広場は屋外的な要素があって本来なら体育館とか屋内の部分があるが冬期間や雨の時に野球部やサッカー部、子ども達が練習する場所がなかなか屋内の部活動もあってない。簡易的な形だが屋根があって外気が通るような広場として提供できるのではないかと設計の中で提案した。部活動以外でも屋外学習の場として使えることや外の空間だが屋根がついているので多目的な活用もできるのではないかと吹き抜けのような形を想定したので高い空間でいろいろな作業や軽運動もできるのではないかと昨年設計の中で提案させていただいた。動線は全体的な動線か。

委員 13 ・出入りの動線。今一つ自分達からするとどちらがグラウンドかさえもこんがらがる。

部会長 ・変更前の図面はないのか。

事務局 ・前回、4月26日の再編準備委員会の時に参考資料として基本設計案の一部を示させていただいた。その中には平面的なことはかいてある。それが概要版的形で動線まではないが動きがわかるのではないかと。その中の④番の屋外広場のところに提案させていただいたがこの部分が吹き抜けの部分とあわせてなくなる。

委員 14 ・物価の高騰、予算の関係でどこをとるといいかを考えた時にここしかないと思う。屋根付き広場があればあったでとてもいい。今言われたように部活でも子ども達が憩える場にもなるいろいろな点でいいと思うがどこで1億を取ろうかと思ったときにプラスアルファの部分はどこかと考えるとここかなと思って一番削減しやすいのではないかと。たくさん考えられてここになったかと思うと苦肉の策だと思うしこれ以上議論できないのではないかとこの気がする。

委員 15 ・結局、給食室は校舎建設の補助対象外になるから給食室専用の補助金をとってくる。そうなるという言い方は悪いが校舎一体の建物でないから屋上を活用することは基本的にできないということか。

事務局 ・実は屋外広場は校舎整備の中に入っている。校舎整備の下に給食室を一体的になってしまうので分けないといけない。どうしても給食室だけの費用を算出しないと行けないのでその辺が同時には建てられないというのが率直な結論になる。

- 委員 16 ・聞いているだけでどこまで正確かはわからないが3月議会のところで大階段の問題があって2つ要らないではないかという意見があった。大階段の一つを外せばこうなると言っただけで条件付きの言葉があったと聞いているが我々には説明がなかったので大階段が一つはなくなるのかとずっと思っていた。しかし復活しているという経緯を教えてください。大階段が必要でないならば削ることで予算が減らせるのか。金額もどのくらいかはわからない。
- 事務局 ・3月議会の前に特別委員会があって基本設計を固めたいと議員の皆さんに説明をしていく中でこの大階段については東側と西側に設計に盛り込んでいたが、議員の方から一つでいいのではないかという指摘があってそれについては私どもも二つほしい、このように活用するのでという説明もした。議会の意向としては一度大階段を一つにするとどうなるのかを作ってみてほしいということで東側を取る、西側を取る案をそれぞれ作ってお示しした。最終的に説明した時にやはり二つでいこうとなり私たちの思いを認めていただいた。それについては一つ取って設えをどうするかというところのお金のところはそんなに大きなことではない。建設工事費が大きく変わることはないとも説明しそれに落ち着いた。
- 委員 17 ・階段を取る話だが防災の面では当然2つあった方がいい。火事になった時に一度に避難できる。その辺のことはどう見ているのか。
- 事務局 ・法律上はその大階段は避難用の階段として指定しなくてもよい。普通の階段がそれぞれあって2方向避難で法律上は網羅されている。その大階段は避難にも使うが一般的には法律を守って取っても大丈夫な形になっている。
- 委員 18 ・高校のグラウンド玄関はどこにあるのか。
- 事務局 ・高校は1階のちょうど保健室の横になる。階段室があるがそこから出られるようになっている。
- 委員 19 ・動線の話だがジオアリーナに朝来て土足のルートで入ってくる。この図の玄関のところでぬぐのか。内履きがあるから入れ替えられる。靴が3足置ける下足箱が並んでいるということか。
- 事務局 ・そうである。
- 委員 20 ・つっかけは今はどうなっているのか。
- 事務局 ・中学生はない。
- 委員 21 ・普通の体育シューズを履いてグラウンドに行ったり地下通路を歩いてジオアリーナに行ったりする。
- 委員 22 ・地下通路は玄関にくっついているのか。斜めに来て玄関に入るのか。
- 事務局 ・地下横断歩道から青い斜めに出ている部分が屋根付きの廊下になって玄関の方に入るようになる。
- 委員 23 ・中学生はどこから来るのか。→図で説明。高校生はどこから来るのか。→図で説明。
- 委員 24 ・靴の汚れを防ぐ仕組みはないのか。食品衛生でセンターは靴は粘着マットを踏んでエアを吸って入っていく。毎回毎回靴の裏のにちゃにちゃをはがしてお金もかかるしこれをして意味があるのか正直思うところもあるがそれだけしないと守れない。そういうことをやられている事業者もあるしルールに従ってやっている。必要なものならすのこで砂が落ちる何かしらの仕組みがあるといい。

委員 25	・共用を入れると汚れるだろう。
委員 26	・少しはマットで広がらないことはあるだろう。
部会長	・補助金についての仕組みを教えてください。3つの補助金を使う。都市と公立学校と給食。都市はどこの補助金になるのか。図面だと青とオレンジしかない。
事務局	・都市構造の方は青もオレンジも裏負担というとおかしいがあたっていない部分にあたる形。全体校舎もあたる。
部会長	・総事業費に対してあたる。
事務局	・そうである。
部会長	・それが総事業費の50%か。先ほど93.2%といわれたので46%ぐらいになったということか。
事務局	・そうである。
部会長	・公立学校の方は青色の部分に対して総事業費の50%なのか。
事務局	・55%というか、補助対象は中学校の規模で算出された面積があってそれに対して55%であって純粋の工事費の55%ではない。文科省の建築単価があってそれに対しての55%になる。実際は総事業費の55%ではない。
部会長	・つまり建設単価があって文科省の予算の55%、今回は都市の46%と55%をたして101%でいいのか。
事務局	・55%は純粋の全体事業の55%ではないので合わせて101%にはならない。
部会長	・それはそうだが持ち出しが必要ということは校舎棟に対して持ち出しが必要なのか。
事務局	・もちろん必要である。
部会長	・つまり文科の単価を超えて設計ができている。文科省が示している単価よりもグレードをあげているからということか。
事務局	・文科省の単価は市場単価よりもかなり低い。それで算出されたのが文科省の補助金、実際市場の価格で設計すると事業費の55%にはならない。
部会長	・給食の方は100%もらえるのか。
事務局	・学校給食施設整備補助はさらに補助率はよくない。実際の算定式があって事業費の2割弱ぐらいしか補助金はあたらぬ。
部会長	・概算建設費が1億3千5百万。
事務局	・それは屋根付き広場をやめた場合の純粋の減額工事費になる。
部会長	・屋根付き広場をやめただけで1億円減になるのか。梁（はり）と屋根だけの構造で。
事務局	・大規模な梁（はり）でおおかた1億3千万円程度と算出している。
部会長	・RCですものだと思うが。
事務局	・下から基礎も入っているし柱もずっとあるし、純粋の平屋の給食室ではない。
部会長	・給食棟を含んでの1億3千万か。
事務局	・給食棟は別個の予算になる。杭からも算出してその分も加算して1億3千5百万程度。あくまでも想定だがこのぐらいの減額になる。
部会長	・そんなにかかるのか。
事務局	・基本的にRCです。
部会長	・1億3千万だと建物1棟できるぐらいになる。2、3階の屋根だけで。
事務局	・杭とか柱も全部入れている。

部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・杭は給食棟にも必要になる。 ・併用してその分加算されている部分も含めて1億3千5百万。元々の概算額から出している。あくまでも目安になる。これがなくなるとそのくらいの概算費用が落ちる。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・何か腑に落ちない気がするがわかった。今どのくらいオーバーしているのか。 ・今はオーバーはしていないが、元々総事業費を国などに要求していたのが内示が九十何%と減った。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それがオーバー分になって1億3千万。 ・1億3千万ではないが近い数字は減額数字として内示があった。その中に収めることが一つの目標になる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・言いたいのは、整理できていないのではないかと思っていて、減額された分が屋外広場をやめただけでペイできているのか。さらにどんどん減る事態ができるのではないかと思ったので厳しめに精査しておかないといけないのではないか。
委員 27	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオアリーナと中学校の建物は真正面の位置かと思うが、地下通路はまっすぐではなく一旦このような動きをする理由はあるのか。ある種大周りのようにするのは必要なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それは後ほど地下横断歩道のところで説明するところだが・・・。
委員 28	<ul style="list-style-type: none"> ・その時でいい。
委員 29	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計の案を見るとバルコニーがある。こども園の建て替えてバルコニーを作った。クラスの雰囲気や子ども達が走っているのを見てよかったと思う。保育園児の背丈だと手すりが1.6mあれば十分だと思うが中学生で1.6mだとふざけて落ちることに関してはないだろうが登って最悪のパターンがあった場合、1.6mの手すりを作っても防げるのか心配している。中学生になれば1.6mは簡単に登れると思う。転落しないような防止策はあるのか。これを見るとその気になれば登れるような感じでイメージ図でよくわからないが、この上の空間も開放感でいいと思うが万が一そういうことを考える子がいたりしたときに不安要素。このバルコニーに関してはすごくいいと思う。今のこども園を見てもよかったと思うがただ中学生になると思春期とか難しい時期になるので県外の学校ではそういった事故が起きたりするのを見るとそういうことを考えている子はところかまわず非常階段であろうと何であろうと外に飛び出したりする。これが教室の横にあるとなおさらリスクが高まるのではないか。手すりの防止策を考えた方がいいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に手すりは1.1m。この図面だが南側の⑤番の部分は基本設計の中でとりやめにさせてもらって北側の部分だけのバルコニーは残っている。教室をすぐ出たところのバルコニーはとりやめとなったのでない。安全面の方は通常1.1mを1.6mとして転落防止対策としてほどこしている。生活指導等の中で先生方から指導していただく形になるのではないか。それ以上の対策は難しいと今の段階では思っている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目の部会ということで新しいメンバーの方もおられ、この間の再編準備委員会ではこの資料を配布したが特徴など詳しく説明する時間を持っていない。最初の説明のように設計が変わる部分もあるので他の部会の方も含めて基本設計をきちんと固めたものを何らかの形でお示しして説明させて

いただきたい。先ほどから通路の話とかバルコニーの話とか土足で掃除が大変ではないかという話があったが、昨年度基本設計の中でそのような意見は出ていてそれを踏まえてこういう形に収まっている。当然皆さんはその経緯をご存じないので事務局の配慮が足りなかったと思っている。冒頭説明した設計の一部変更については私どもも去年1年かけて基本設計を議会から言われたことも協議して自分達を作りたい学校ということで仕上げてきた設計ではあるが、どうしても補助金をしっかり確保しながら設計していかないと勝山市の財源のこともあるのでなかなかバランスが難しい。今回こういった形で見込んでいたものが減額になったりしたので泣く泣く2階の広場もとりにたくないがこういう形でいこうと考えたあげくのもののご理解をいただいてこの後の作業を進めさせていただきたい。よろしくお願ひしたい。

部会長 ・他にご意見はあるか。残念だが一番悔しいのは教育委員会の皆さんかなと思っている。ずっと長い間作ってこられて給食室もプロポーザルの後に出てきた話でどうするかと協議をして自分も意見を言わせていただいた。最終的に作る方向になって精一杯活用していくにはどうしたらいいかという中で屋上を使えるのではないかと屋外広場が出てきてそれがいいとなってどんどん盛り上がっていった先でこういう話になった。いい学校を作っていきたいと思っているし皆さんもそうだと思う。運用上になるかもしれないが下足の泥の対策について検討事項として残していただければと思う。

次の議題に移ってもよろしいか。地下横断歩道について事務局から説明をお願いします。

(地下横断歩道について)

事務局 資料2. 地下横断歩道について 説明

部会長 ・ボリュームが多かったが、質問や意見を伺いたい。

委員1 ・ICカードは高校生ももらえるのか。

事務局 ・中高生両方とも全員に持っていただく。

委員2 ・この通路は中高生しか使わないならばこんなにおしゃれにする必要があるのか。これだけカメラがついていれば普通の打ちっぱなしの通路でいいのではないか。

事務局 ・元々、地下通路、我々は地下横断歩道と言っているが、どうしても暗いとか閉鎖的とか防犯対策的なものがないというイメージが多い。その中で今回設計業者をプロポーザルをしていただいてどういった形で対策ができるかをこういう提案をいただいてお示ししご理解いただいて設計している。従来の地下通路、地下横断歩道のイメージを覆すような形で誰もが安心、安全で通れるような雰囲気も温かい感じということが求めていたものなのでそれに対する設計のまとまりになる。

委員3 ・変な人が入ると思って皆さん地下はいやだと言っている。完全に中高生だけなので明るささえあればこんなにする必要はないのではないか。セキュリティもしっかりしている。こんなところにお金をかけているなら他にお金をかければいい。

委員4 ・雨が流れる部分は考えられているが中でぼやではないがガスが流れ込んだりして換気の仕組みの説明がなかったが大丈夫か。

事務局 ・特に必ず換気を設けなければいけないものではないがしっかり換気扇を設置

	<p>して空気の流れは通るようにしている。内部は不燃的な感じで指導がされている。火災のないような形はしっかりとっていききたい。</p>
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ I Cカードの場合、かざすのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接触型になる。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうするとスクールバスで来た場合、先頭の人が開ければ続いてどっと入れるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ I Cカードをかざせば自動ドアが開くのではなくて I Cカードをかざせばしばらく自動ドアが動く設え。先頭の人がすればしばらくは動く。人を感知すれば延々と流れていくと思う。それが一定期間止まれば施錠が始まる。設定は警備的な面はできると思われる。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去から地下通路には結構いろいろな要望が出てきていてこういう形に至っているが、一人が開けたときに別の人がいたらだれでも続いて一緒に入れる。そうすると本当のセキュリティでの強化としてはダメだと思う。これまでの話を聞いている限り、例えば I Cカードをわすれてきたら入れない。インターフォンで呼び出すしかない。顔認証の形で登録してある人しか通過できない。もし違う人が入ってきたらそこでエラーを発するというくらいでないとこれまで皆さんが心配してきた件のところまでの最終解決はできないのではという気はしている。その辺のところを金額的にも大きく変わらないと思うのでこれで決めるのではなく検討していただけないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実は顔認証も検討した。顔認証は室内でないと光とか塵とかでバス停の前の自動ドアだと反応しづらいというのが顔認証の欠点だとわかった。いろいろ問い合わせて確認をとって外の自動ドアのところでは少し難しいということ顔認証の場合は毎年度子ども達の顔を設定しないとイケない。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回だけ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回だけだが、 I Cカードも誰が使ったという履歴がしっかり残る。確かにしばらく開くというのがマンションの防犯ドアと同じで後ろから一緒に入れる。その辺はカメラとか設定時間を短くするという事で対応していきたい。朝は先生がいていただけるのではないかという思いもある。他の時間で子ども達をどう守れるかは研究していきたい。 I Cカードという方向で今の段階はいきたいと思っている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、朝とか夕方の時間帯という話が出たが学校では想定されているのか。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからになる。
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下は多分コンクリートだと思うが、コンクリート自体は少しでも滑りにくいような対策はあるのか。どうしても雨で濡れていると朝とか子ども達が急いでいるときに階段で滑って転んだとか、体育の時間に遅れるとって上履きの通路もあると思うが雨とかで濡れていて滑って転ぶとか、万が一転んだとしても怪我しにくいような例えば保育園で使っているような硬いゴムの様な感じのものを引いたりするのか、それとも本当に普通の駐車場みたいなコンクリートを打ちっぱなしにするのか。ましてや冬になると雪とかも持ち込んですごい濡れている状態で、雪があつてコンクリートはなおさら雪が乗っていると滑りやすいので、そういった対策をしているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我々も床については本当に悩んだ。タイルがいいのかシートがいいのかいろいろ検討した。今回このカラクリート、色のついたセメントだがやはり今ほ

ど言われた水とか氷とかもちろんあると思う。その辺もあるし滑り止めの関係も考えている。例えば、長靴とかでよく金具がついているものがあったりするとシートが一発で破れたりすることもあり、野球部の生徒がスパイルのままということはないと思うが、金物ですればそういった素材はすぐ傷んでしまう。コンクリートが滑りやすいのではないかについては、仕上げとか砂を混ぜることで滑り止めを施していきたいと思う。また言われているのは清掃性。清掃するのと防滑という滑り止めは、両極端というか相反するものなので、滑り止めをするにあたっては清掃がしにくくなるという声もいただいているので、子ども達が滑りにくいような仕上げにしていきたいと思うし、清掃性も考えた仕上げで確認してやっていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

委員 11 ・先ほど換気の話が出たが、万が一起きないとも限らないが、火災とかそれに準じたものが起きた場合に、例えばそこに誰もいなければいいのだが、万が一そこに誰かいて火が起きているから消さなくてはとなったときに消火設備というか、それは置いたりはしないのか。

事務局 ・実は前にもご質問いただいたが消火関係は基本的に何も指導はない。ただ自主的に消火器は設置していったらと考えているし、先ほど設えの内装の不燃は必ず準備をしていく。

部会長 ・他はよろしいか。元々プロポーザルの審査も担当したが、ここは簡素に作ることはできる。ただ学校の施設なので一つ有効活用できないかという検討事項もあって、掲示板とかもできるような壁になっている。これから出てくる3校の思い出とかを掲示できると、地下通路もすごくいい空間になるのではないかと思っている。この天井のパネルも、提案としては生徒たちが手作りしたものをどんどん加えていくといった、ただ用意されたものを使うのではなくて、授業とか生徒たちが少し室内とかに手を加えていけるような仕組みもされているようなのでこの辺りはいいかなと個人的には思っている。あとは転ぶと大変になる。特にそこに対しては、敷地内でいろいろなところにアスファルトとかもあるのでその延長線で考えていくこともあるし、監視カメラもついているので緊急時には対応していかなければならないかと思うので、そこは運用方面と合わせて検討していかなければならないことかと思う。ではこの内容で進めていくことでよろしいか。

(頷き多数)

ありがとうございます。3番目、学校の歴史等の継承について説明をお願ひしたい。

(学校歴史等の継承について (案))

事務局 ・資料3. 学校歴史等の継承について (案) を説明

部会長 ・意見や質問はあるか。なかなか皆さんも多分使ってきたものがあったと思うが全てのものを持っていくことはできない。

委員 1 ・モニュメント (外) の中に入っているのかと思うが、タイムカプセル的なものが残っているのか。

事務局 ・あるところにはあるらしいが、調べてみないとよくわからない。どこに埋まっているのか全部掘るわけにもいかない。何か埋まっているらしいというレベルである。

委員 2	・ 広報で一回皆さんに周知して、各中学校出身の方に情報をいただいて、効率的にイベントをそれぞれの方がされて納得して取っていただくような形が理想なのかと思う。大変ですけどあまり強制的にガコンとやると怒られてしまう。後のトラブルになるのかと思う。
事務局	・ 学校の跡地利用のことも絡んでくるので、勝手にどんどん掘って行ってということもできない。おっしゃることを大事にしたいかと思う。
委員 3	・ 備品を新しく全部買おうと思ったら大変だと思う。例えば紅白幕なんて校章が入っていてもいいと思う。ちょっと長さも違うかもしれないがこの列は北中で、こっちは南中で後ろは中部となっても、それはそれでよくないか。もったいない。全部校章入りのものを買おうと思うと莫大なお金がかかるので、なるべく今あるもので、校章が入っていても使えるものは使っていく。ある程度の時期が来て、そろそろ買い替えなくてはいけないときになるまでは使えるものを使ったほうがいいのではないかという気はする。体育館の緞帳までは持っていくわけにいかないと思うので新しいものを作らないといけないと思う。いや緞帳はない。体育館は大丈夫。緞帳は使えないので置いていくしかない。
事務局	・ ありがとうございます。例えば紅白幕も第何回卒業生一同と入っている。だからお金がかかっている。新中になってその3年生が入って紅白幕をとそんなわけにもいかない。おっしゃるような貴重なものはできるだけ使えるものを使っていくというのも一つの新しい考えかと思う。
委員 4	・ 上掛けも使いましょう。使えるものは使ったほうがいい。全て新しくは無理だと思う。
部会長	・ 素晴らしい意見だと思う。他に意見はないか。
委員 5	・ 今後検討するということか。
事務局	・ これはたたきの案なので決定ではない。
部会長	・ 確認しておきたい。この部会で議題に出した方がいいかと思うが、残す残さないというのはこの部会に諮るのか、それともこういうふうに結果だけを聞いているのか。
事務局	・ ゼロから話すと大変になるので、事務局の案としてはこういうふうにさせていただきたい、しかしこれはダメだろうというところを部会で検討いただいてさらにいいものにしていければいいかなと思っている。
部会長	・ 了解した。残すもの、廃棄するもの、未定のものというのは、今後また増えて部会にかけられるというイメージでいいか。
事務局	・ さらにいろいろな備品が出てくるので、備品はまた別途になるが、とりあえずこれは歴史に関するようなことを中心にあげさせていただいた。
部会長	・ そういう一つ一つのものをここで精査するのか、この部会で大きくそういうものは廃棄する方向性をここで決めるのか、何をこれで決めるのかわからない。
事務局	・ だいたいの方向性でいいと思う。たとえばこの理科の備品は残すとか一つづつはやっていけない。
部会長	・ 了解した。
委員 6	・ これはもめる話なのか。あれなんで残してないのかと言う人はいるのか。そんなことは誰も気がつかないのではないか。大事なあれはどこに行ったと言

	う人がいるかな。事務局主導で取捨選択しても良いのではないかな。
事務局	・一方でPTA部会でも少し話が出たが、3中学校には同窓会があるので、そちらの絡みもある。そちらの方からなぜ勝手なことをしたと言われると困る。
委員 7	・何十何年卒業生が作ったものとかもある。
委員 8	・PTA部会での内容を一応分けてほしい。PTA部会で同窓会でのこのようなことを話していたらおかしいので、同窓会をどうするのかということだけがPTA部会で話すことになる。
事務局	・同窓会の組織についてPTA部会では議論していただいている。
委員 9	・他のこういった事例、日本全国にどこかあると思うが、そういったところは どういうふうになっているのか、同じような悩みでやっていると思う。結局 どういった方向性になったのか。
事務局	・いろんな歴史的な変遷があって、例えば統合のパターンもいろいろあるとは思 思うが、事務局としては2つしか調べていない。どうされているかと聞いたら 決まっていない。とりあえず置いてあるというか、そういう状況だった。
委員 10	・参考として昔の勝山中学校にあったものが全部南部中にある。
委員 11	・全部はない。一部で全てはない。校長先生方の写真は多分ない。
委員 12	・北部とか中部にもないのか。
事務局	・ない。3中に確認に行ったが、南部中にだけは旧勝山中のものがある程度残 っていた。でも他の2中に関してはほとんど残っていない。法律上永年保存 というものは取っておかなくてはいけないものもある。
委員 13	・それは本当に今も必要とされているという話もあって、南部中に勝山中学時 代のトロフィーがあったりして・・・。
委員 14	・トロフィーはない。
委員 15	・どんなものをいつているのかわからないが、それが実際に南部中にある以上、 それを誰かが見に来たりしたこともあるのか、実際にそれが本当に必要なも のになっているのか、それも一つの参考に考えたらいいのではないかな。南部 中に持ってきているけど、結局は何も必要ないというようなものもあるのだ はないか。
委員 16	・校旗とか校章とかも持っているが見せてほしいという人はいない。楽譜がな いかとか名簿を見せてほしいとか、同窓生の名前がどうなのか知りたいと かも、そういうおじいちゃん方がいらしたことはある。
委員 17	・そういうところを一つの参考にしていけばいいのではないかな。
部会長	・雑談を2ついいか。意見ではないが、トロフィーとかは市民の方などへ譲渡 はできないのか。今回答えなくてもよい。もう一つ図書館も利用することは できないか、図書館は書庫がたくさんあると思うが、地域資料としてもし余 裕があればここにお願いするというのもあるかと思った。他の皆様、よろし いか。では一通りご意見を出していただいた。また新しいメンバーが来るの で一旦話があったように全体の説明をする会を設けていただきながら引き 続き施設整備部会を進めていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。では 事務局の方にお返しする。
事務局	・時間が遅くなってしまったこと、また説明の中で資料等配慮が足りなかった 部分があり申し訳ない。次回に準備をして説明をさせていただきたいと思 思う。また本日はたくさん貴重なご意見をいただいたので、事務局の方で検討 を深めていきたいと思う。次回は日程の方はまだ確定していないが工事の進

捗状況などを見極めながら開催させていただきたいと思う。日程は決まり次第連絡させていただくのでよろしくお願いいたします。以上で第1回の施設整備部会は終わりとさせていただきます。ありがとうございました。

- 資料1. 新中学校校舎設計の一部変更について
- 資料2. 地下横断歩道について
- 資料3. 学校歴史等の継承について (案)